が終了した時、旧ドナウ、新ドナウ、ドナウ、ドナウ運河の４つに分別され、後にドナウパークとなった。道路筋から見られるプラターの観覧車は、目立って夜空に映えている。この遊園地の観覧車は、映画“第三の男”に登場してから有名になった。

音楽の都ウィーンは、モーツァルト、ベートーベン、シュトラウス、シューベルトなど多くの歴史を飾った大作曲家が生を享けたり、学んだ町である。モーツァルトは15ヵ所も居を変え、ベートーベンにいたっては、60回以上引越しをしたと記述されている。

この町は、音楽以外にも、建築、絵画、心理学で変革をもたらし、名をはせている。

国立オペラ座は、改築前、できばえに厳しい批判があった。第二次世界大戦終結時の爆撃でほぼ全壊されたが、1955年再開され、世界一流のオペラ座に改革された。世界３大オペラ座の一つと評されている。2002年、東洋人で初めて音楽監督に小澤征爾氏が就任。

伝統あるニューイヤーコンサートの舞台は、ご存知、学友会ホール（1814年創立、建物の設計は1870年）。大ホールは観客2,000人、演奏家500人を収容できる。

闇の薄らいできた午後９時頃、小学生くらいの少年数人が“コンニチハ”と挨拶をしてきた。アレッ、この時間にと思いながら、片言のドイツ語で短時間、国際交流をした。にこやかな笑顔、表情が返ってきた。形にならないが、嬉しいお土産。

さすが、歴史、文化の町、ウィーン。

北海道医報へのご投稿等について

◇広報委員会◇

北海道医師会では、会員の皆さまから「学術投稿」「会員のひろば」等各種原稿を下記要領にて募集しております。是非ともご投稿いただきたくお願い申し上げます。

なお、写真作品のご投稿につきましては、ホームページに「フォトギャラリー」を設けておりますので、ご応募ください。

投稿要領

1．原稿の締切

毎月10日までにいただいたものは原則として翌月号に掲載となります。ただし、「会員のひろば」については、受付状況により掲載号を決定します。

できるだけメール等の電子メディアでお寄せください。

2．原稿の体裁と字数制限

(1) 原則として横書きといたします。
(2) 引用文以外は、すべて当用漢字、現代かなづかいを使用してください。
(3) 誤字、脱字、明らかな間違い等は広報委員会において訂正いたします。
(4) 1回の掲載紙面は、原則として2頁を限度とします。
医報1頁は約2,200文字です。ただし、タイトル、写真、図表等を含んでおりませんのでご考慮ください。
(5) 長文原稿および連載物は、広報委員会にて採否決定の上で分割掲載、掲載号等を決めさせていただきます。

3．原稿の訂正、返却

次の場合は、広報委員会の決定に基づき、執筆者に対し訂正を求めるか、または返却いたします。

(1) 特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容
(2) 匿名の投稿
(3) 本誌以外に既掲載のもの、あるいは投稿中のもの（二重投稿）
ただし、特に必要と認められる場合はこの限りではない
(4) その他掲載に支障がある内容

4．ホームページへの掲載

特にお申し出のないかぎりホームページに掲載されますので、予めご了承ください。

連絡先：北海道医師会事業第一課
TEL 011-231-7661　FAX 011-252-3233
E-mail：ihou@m.doui.jp